

みずほCustomer Desk Report 2019/04/03号(As of 2019/04/02)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.44
TKY 9:00AM	111.44	1.1206	124.87	GBP/USD	1.3065
SYD-NY High	111.46	1.1216	124.89	AUD/USD	0.7110
SYD-NY Low	111.25	1.1183	124.48		
NY 5:00 PM	111.33	1.1205	124.71		
NY DOW	26,179.13	▲ 79.29	日本2年債	-0.1600	2.00bp
NASDAQ	7,848.69	19.78	日本10年債	-0.0700	1.00bp
S&P	2,867.24	0.05	米国2年債	2.3014	▲ 3.32bp
日経平均	21,505.31	▲ 3.72	米国5年債	2.2823	▲ 4.18bp
TOPIX	1,611.69	▲ 4.12	米国10年債	2.4715	▲ 3.03bp
シカゴ日経先物	21,545	▲ 105	独10年債	-0.0505	▲ 2.30bp
ロンドンFT	7,391.12	73.74	英10年債	1.0030	▲ 4.30bp
DAX	11,754.79	72.80	豪10年債	1.8325	2.15bp
ハンセン指数	29,624.67	62.65	USDJPY 1M Vol	5.36	▲ 0.16%
上海総合	3,176.82	6.46	USDJPY 3M Vol	5.96	▲ 0.05%
NY金	1,295.40	1.20	USDJPY 6M Vol	6.46	▲ 0.04%
WTI	62.58	0.99	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
ORB指数	186.37	0.91	EURJPY 3M Vol	7.15	0.01%
ドルインデックス	97.31	0.07	EURJPY 6M Vol	7.55	▲ 0.05%

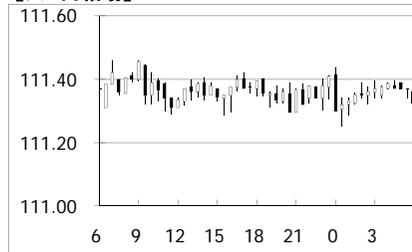
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月2日	12:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.5%
	17:30	英 マークイット建設業PMI	3月	49.7
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	2月	0.1%/3.0%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	2月	-1.6%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	2月	0.1%

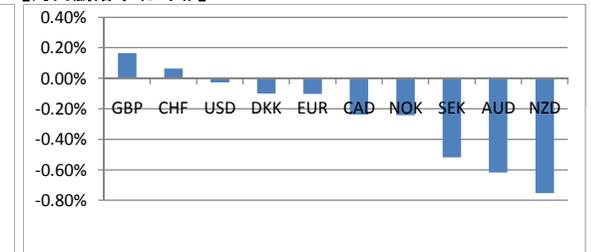
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月3日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	2月	0.3%
	09:30	豪 貿易収支	2月	A\$3700m
	16:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンソリッド)・確報	3月	54.9/51.5
	17:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンソリッド)	3月	50.9/51.1
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	2月	0.3%
	21:15	米 ADP雇用統計	3月	175k
	21:30	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンソリッド)・確報	3月	54.8/-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-111.80	1.1180-1.1230	124.20-125.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は小幅レンジ推移となった。発表された米2月耐久財受注はほぼ予想通りの結果で相場の動因とならなかった。本日もレンジ相場継続をメインシナリオと考える。本日から開催される米中貿易交渉関係者会合の結果や週末の米雇用統計の結果が出るまでは様子見ムードから積極的な取引は手控えらるだろう。ただ、年初来高値まで上昇している原油価格がインフレ上昇に寄与するとの見方が強まる可能性はあり、上下どちらかと言えば米金利上昇と共にドル円は連れ高になる展開を想定する。

東京	東京時間、ドル円は111.44レベルで取引を開始。200日移動平均線(111.48)が上値として意識される中、日経平均株価も下落したことからドル円は軟調推移の展開となり、111.29まで下落。その後は動意無く推移し、111.35レベルで海外に渡った。一方豪ドルは0.7110レベルで取引を開始。豪中銀理事会後に荒い値動きの中で高値0.7131をつける場面も見られたが、声明文が「GDPのデータは労働市場のデータより軟調な状況を示している」と記載される等、ハ派な内容となったことから豪ドル売りの流れとなったことで0.7080レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.35レベルでオープン、特段、材料が無い中、111.30-42円の小幅推移となり111.37レベルでNYに渡った。ユーロは1.1204でレールオープン。LDN朝方に発表されたユーロ圏2月PPIが予想を下回ったものの反応薄。1.1190-1.1206と1.1200を挟んだもみ合いとなり、1.1202レベルでNYに渡った。ポンドは1.3055レベルでオープン、ハルニEUA交渉官が「離脱なき合意になりそう」とのコメントを放したことや英3月建設業PMIが弱い結果となったタイミングでそれぞれ売られたがすぐに反発。英超党派議員が「離脱なき合意」を法的に禁ずる案を提出するとの報道でLDN屋過ぎに一時買い戻されたがその後は1.3015まで下落し1.3017レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は111.40近辺でもみ合い。一時111.46まで上昇するが、テクニカル水準を上げられず、日経平均株価がマイナス圏に沈むと111.29まで下落し、111.37レベルでNYオープン。NY朝方発表された米2月耐久財受注が市場予想の範囲内であったことからドル円の反応は限定的。その後、111.43まで上昇する場面も見られたが、前日からレジスタンスとして意識されている200日移動平均線(111.48)近辺では上値は重く、ロンドンフィクシングにかけて安値111.25まで反落。手掛り材料が欠ける中、111.40手前で動意の薄い値動きが続き、111.33レベルでクロス。一方、ユーロは1.1202レベルでNYオープン。NY朝方は1.1212まで上昇するが、その後、ドイツ金利が低下したことから安値1.1183まで下落。NY午後には「英首相はブレグジット交渉の行き詰まりを打開するため、労働党(英・野党)のコービン党首との協議を提案した」との報道が伝わり、ブレグジット交渉への進展期待にポンド買いが強まる中、ユーロは連れ高となり、高値1.1216まで上昇。NY終盤は再び1.1200近辺で小動きとなり、1.1205レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:坂本・田家